

# 2023年度 経営学部デュアルディグリー・プログラム履修の手引

## I デュアルディグリー・プログラムとは

明治大学経営学部（以下、SBA）のデュアルディグリー・プログラム（以下、DDP）は、明治大学経営学部での2.5年間、ヴィクトリア大学グスタフソン・ビジネス学部（以下、UVic）での2.5年間、計5年間で日本の経営学士とカナダの商学士の2つの学位を取得できるプログラムです。学部間協定留学（1学期間または1年間）よりも長い期間にわたって海外の大学で学ぶことができ、約1年間の実務経験を積むことのできる有償インターンシップにも参加します。

このプログラムは2015年度入学者から開始したプログラムで、2017年度秋学期からUVicへの派遣を行っています。学部間協定留学とは異なり、派遣前に明治大学経営学部で修得しなければならない単位数や授業科目が定められています。DDPに参加し、2つの学位取得を目指したいと考えている人は、この手引を参考にできるだけ早い時期に詳細を確認し、必要な授業科目の履修や準備を計画的に行ってください。

### <入学からデュアルディグリー取得まで>

#### ・1年次～3年次春学期

SBAに入学し、日本で学びます。経営学の基礎や幅広い視野と教養を身につけながら、UVicへの入学に必要な所定の単位を修得します。この間にSBAで修得した単位は、一定の条件のもとでUVicにおいても認定されます。

(⇒ III参照)

#### ・3年次秋学期～5年次

UVicの3年次に入学し、カナダで学びます。ビジネス科目で専門知識を身につけながら、夏休みや一部の学期を利用して有償インターンシップ（Co-operative education）に参加します。また、4年次以降には、UVicの協定校に交換留学をするという選択肢もあります。(⇒ IV参照)

#### ・デュアルディグリー取得

UVicの卒業要件を満たすと、カナダの商学士（Bachelor of Commerce）の学位が授与されます。UVicで修得した単位は、一定の条件のもとでSBAにおいても認定され、SBAの卒業要件を満たすと、日本の経営学士（Bachelor of Business Administration）の学位が授与されます。

## II DDPへの申請要件

DDP参加の学内応募期限は派遣前年度（2年次）の9月中旬、UVic出願のための最終書類提出期限は1月末を予定しています。最終的には以下の要件を満たしていなければなりません。詳細な日程については追ってお知らせします。

- ・派遣前年度（2年次）の秋学期までに所定の授業科目60単位以上を修得していること（応募時は見込み）。また、UVic入学時点で直近の30単位の評価の平均がB以上であること。入学要件で必修とされている各科目（ミクロ経済学、数学、統計学、英語）を2年次の春学期までに修得し、その評価がB以上であること。（2年次秋学期修得見込みでも応募は可。）
- ・英語要件： TOEFL iBT 90点以上（かつ各セクション20点以上）、IELTS 6.5点以上（かつ各セクション6.0点以上）のいずれかを満たしていること。

※入学審査は、SBAでの①成績（GPA）の審査が60%、申請時に提出する②Supplemental Application（履歴書、750～850語のエッセイ2題）による審査が40%の割合で行われます。①②ともに重要ですが、1・2年次履修における準備として、できるだけ高いGPA(3.0以上)を維持するよう努力してください。

## III SBAでの授業科目の履修（1年次～3年次春学期）

DDPでは、UVic3年次への入学要件として、SBA 入学後の2年間で所定の60単位を修得することが求められます。

これらの単位のうち、ミクロ経済学 3 単位、数学 3 単位、統計学 3 単位、英語 6 単位は、DDP 入学要件で必ず履修しなければなりません。

できる限り、2 年次の春学期修了時点までにすべて修得できるように履修計画を立ててください。

UVic3 年次に入学できた場合、SBA で修得した 60 単位は UVic の単位として認定されます。ただし、「ビジネス科目」(後述)については 9 単位までしか認定されませんので注意してください。

1・2 年次にはこれらの条件を満たすため、以下にしたがって授業科目を履修してください。なお、SBA の卒業要件を満たすため、1・2 年次に修得しておくべき学部必修科目、外国語科目(必修科目)、体育実技はもちろんのこと、教養科目・基礎専門科目についても計画的な履修を心がけてください。3 年次春学期開始時にはまだ派遣が確定していませんので、春・秋学期分の履修登録を行い、基礎専門科目・学科専門科目を履修してください。

### 1. 「ミクロ経済学」3 単位

ミクロ経済学 3 単位については、以下の SBA の授業科目から 3 単位以上(2 科目 4 単位以上)を履修してください。

<2023 年度「ミクロ経済学」該当科目一覧>

履修開始年次	科目名	担当教員	開講期	キャンパス	単位数	科目区分	備考
1	近代経済学 A	(指定クラス)	春学期	和泉	2	学部必修科目	(必修科目)
1	基礎専門演習 A (ミクロ経済学)	三上真寛	春学期	和泉	2	基礎専門科目	

### 2. 「数学」3 単位

数学 3 単位については、以下の SBA の授業科目から 3 単位以上(2 科目 4 単位以上)を履修してください。下記科目のうち、「数学 B (高澤陽太郎先生)」の履修を推奨します。(詳細は下記※参照。)

<2023 年度「数学」該当科目一覧>

履修開始年次	科目名	担当教員	開講期	キャンパス	単位数	科目区分	備考
1	数学 A	高澤陽太郎	春学期	和泉	2	教養科目	
		船越正太					
1	経営基礎数学 A	高澤陽太郎	春学期	和泉	2	基礎専門科目	
1	数学 B	高澤陽太郎 (※推奨)	秋学期	和泉	2	教養科目	
		船越正太					
1	経営基礎数学 B	高澤陽太郎	秋学期	和泉	2	基礎専門科目	

※「数学 B (高澤陽太郎先生)」を修得(評価 B 以上)出来なかった場合、3 年次春学期に「経営統計学 B」の修得(評価 B 以上)が必須となります。(UVic から線形回帰(Linear Regression)に関する知識習得が要件として求められているため。)

### 3. 「統計学」3 単位

統計学 3 単位については、以下の経営学部の授業科目から 3 単位以上(2 科目 4 単位以上)を履修してください。

<2023 年度「統計学」該当科目一覧>

履修開始年次	科目名	担当教員	開講期	キャンパス	単位数	科目区分	備考
1	統計学 A	藤江昌嗣	春学期	和泉	2	教養科目	
1	統計学 B	藤江昌嗣	秋学期	和泉	2	教養科目	

#### 4. 「英語」6単位

英語6単位については、以下の経営学部の授業科目から6単位以上（3～4科目6単位以上）を履修してください。

##### <2023年度「英語」該当科目一覧>

履修開始年次	科目名	担当教員	開講期	キャンパス	単位数	科目区分	備考
1	英語（初級）A	選択	春学期	和泉	1	外国語科目	（必修科目） 2コマ（2単位修得）
1	英語（初級）B	選択	秋学期	和泉	1	外国語科目	（必修科目） 2コマ（2単位修得）
2	英語（中級）A	選択	春学期	和泉	1	外国語科目	2コマ（2単位修得）
2	英語（中級）B	選択	秋学期	和泉	1	外国語科目	2コマ（2単位修得）

#### 5. その他の授業科目

上記1～4で履修した最低15単位を含む計18単位（4+4+4+6=18単位）については、すべてUVicの単位として認定されます。また、SBAの卒業要件を満たすため1・2年次に修得しなければならない単位のうち、学部必修科目「近代経済学B」2単位、外国語科目10単位（16単位から上記4の英語科目を除く）、体育実技2単位の計14単位についても、すべてUVicの単位として認定されます。学部必修科目の残り8単位（12単位のうち「近代経済学A・B」を除く）と進級要件である「簿記論Ⅰ」「簿記論Ⅱ」4単位または「簿記技能」1単位の計9or12単位については、「ビジネス科目」であるため、UVicでは計9単位までしか認定されません。ここまでで合計41単位が認定されます。

UVic3年次への入学には60単位以上が必要です。少なくともあと19単位（60-41=19単位）が必要です。この残りの19単位は「非ビジネス科目（UVic DDP科目）」を履修しなければなりません。1・2年次配当の教養科目、基礎専門科目、その他の自由履修科目となる科目群から「非ビジネス科目（UVic DDP科目）」（⇒別紙参照）を選んで19単位以上を修得してください。

以上にしたがってSBAで1・2年次に修得した60単位は、UVicへの入学要件の1つを満たすことになり、さらに、入学後、同大学の学士課程における単位として認定されます。入学前の3年次春学期はSBAで基礎専門科目、学科専門科目を履修し、SBAの卒業に必要な単位数をできる限り充足するように努めてください。

##### <履修モデル>

科目区分	SBAの卒業に必要な最低修得単位数	SBAにおいて各学期に修得すべき単位数			UVicにおいて修得した単位の認定
		1年次 (春・秋学期)	2年次 (春・秋学期)	3年次 (春学期)	
学部必修科目	12	12	—	—	—
教養科目	24	①	24		—
外国語科目	16	16			—
体育実技	2	2	—	—	—
基礎専門科目	14	②	14のうちできる限り修得		⑤ 認定可
学科専門科目	32	④	32のうちできる限り修得		⑥ 認定可
自由履修科目	24	③	24のうちできる限り修得		⑦ 認定可
計	124	最大40	最大40	最大22	最大60

- (1) UVic への入学に必要な所定の 60 単位を修得するため、教養科目、基礎専門科目、自由履修科目（表中①、②、③）のいずれかにおいて、1・2 年次に「非ビジネス科目（UVic DDP 科目）」を中心に履修し、合計 19 単位以上修得しなければなりません。
- (2) 基礎専門科目については、最低修得単位数 14 単位のうち、できる限り多くの単位を 3 年次春学期までに修得しておくことが推奨されます（表中②）。ただし、UVic において修得した単位の一部は、SBA における基礎専門科目（経営学部設置科目への読み替えまたは「Overseas Exchange Subjects (Core Subjects)」）の単位として認定されます（表中⑤）。
- (3) 学科専門科目については、最低修得単位数 32 単位のうち、できる限り多くの単位を 3 年次春学期までに修得しておくことが推奨されます（表中④）。ただし、UVic において修得した単位の一部は、SBA における学科専門科目（経営学部設置科目への読み替えまたは「Overseas Exchange Subjects (Specialized Subjects)」）の単位として認定されます（表中⑥）。
- (4) 自由履修科目については、最低修得単位数 24 単位のうち、できる限り多くの単位を 3 年次春学期までに修得しておくことが推奨されます（表中③）。ただし、上記の方法で認定された単位のうち、当該科目区分の最低修得単位数を超えて修得した単位は、自由履修科目として卒業に必要な単位数に算入されます（表中⑦）。
- (5) 以上に加えて、UVic への入学要件として、所定の授業科目の単位修得が必要です。本手引の前ページまでを参照してください。

## 6. ISIBM について

ISIBM は UVic が主催する 3 週間の夏季海外研修プログラムです。UVic の教授陣による授業や現地の様子を伺い知ることができるため、DDP に応募したいと考えている人には参加を推奨します。修了者は SBA の単位として最大 6 単位が認定できます。

ただし、ISIBM の修了者がデュアルディグリーを取得する場合、ISIBM により修得した 6 単位と UVic 3-5 年次で修得する 60 単位、**計 66 単位のうち、明治大学経営学部の単位として認定されるのは最大 60 単位まで**ですので注意してください。また、ISIBM により修得した単位を UVic への入学に必要な所定の 60 単位に含めることはできません。

## IV UVic での授業科目の履修（3 年次秋学期～5 年次）

UVic に入学後、最初の 1 年間は以下の必修科目を中心に学びます。

Fall core 科目群（例）	Spring core 科目群（例）
Financial Accounting	Management Accounting
Leading People and Organizations I	Leading People and Organizations II
Operations Management	Introduction to Management Information Systems
Marketing Principles and Management	Business and Sustainability
International Business	Management Finance

4 年次以降、UVic で、専門領域（アントレプレナーシップ、国際ビジネス、サービスマネジメントのいずれか）または非専門領域の科目群を学びます。UVic で修得した 60 単位は、SBA 設置科目との読み替え、または、「海外留学認定科目(Overseas Exchange Subjects)」として SBA においても単位認定されます。

UVic に入学後、主に夏休み（2 回）と 1 学期間（1 回）の有償インターンシップ（Co-operative education）に参加します。有償インターンシップとは、在学中にフルタイムで給与を得ながら実務経験を積むことができる教育プログラムです。計 3 回の有償インターンシップは UVic を修了するための必須要件ですが、うち 1 回（初回分）は入学前に就労経験（ビジネス関連分野で 420 時間相当の有償労働に限る）を積んでおくことにより代替することもできます。有償インターンシップの一部を入学前の就労経験により代替した場合、最短 4.5 年間でデュアルディグリーを取得することができます。なお、4 年次以降には専門領域の履修を 1 学期間 UVic の協定校（40 ヶ国 80 以上の大学から選択）で行うことができ、UVic の協定校である明治大学に戻ってきて履修することも可能です。